



図書館通信

中高生版 2023年7月号 No.25

図書館ニュース

課題図書の貸し出しについて

7月21日(金)から8月31日(木)までの期間中、読書感想文・感想画の課題図書の貸し出しを、次のように行います。

- ・ 町内在住の対象学年の人のみ
- ・ 1人1さつ1週間

「予約」する場合は

- ・ 1人1さつまで
- ・ 連絡があってから、3開館日以内に借りること

できるだけ多くの方が借りられるよう、ご協力をお願いします。



雨の日は、
本がぬれないように
気をつけましょう！

新着図書

<YA・心理>

『「バイアス社会」を生き延びる』

中野 信子／著
小学館

<YA・進学>

『体育学部・スポーツ科学部』

山下 久猛／著
ペリかん社

<YA・数学>

『絵と図でたのしむ数学脳トレ』

ニュートン編集部／編著
ニュートンプレス

<一般・部活>

『部活でスキルアップ！放送部活躍のポイント』

さらだ たまこ／監修
メイツユニバーサルコンテンツ

<一般・音楽>

『はじめての吹奏楽プラスバンド』

佐藤 博／監修
メイツユニバーサルコンテンツ

<一般・スポーツ>

『やり続ける力』

内村 航平／著
KADOKAWA

<一般・小説>

『永遠と横道世之介 上・下』

吉田 修一／著
毎日新聞出版

<一般・小説>

『物語の種』

有川 ひろ／著
幻冬舎

<一般・小説>

『ヨモツイクサ』

知念 実希人／著
双葉社

<一般・エッセイ>

『青の国、うたの国』

俵 万智／著
ハモニカブックス

図書館
カレンダー

この印が休みの日です

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間 10時～18時



本を入れる
バッグを
持ってきてね！

今月の特集コーナー

<児童書テーマ> 「**実験してみる?**」

『自分で考え、自分で書くためのゆかいな文章教室』 (今野 真二／著 河出書房新社)

文系分野での実験を探していたときに見つけた本です。ここで質問です。「しあわせ」と「幸福」の二つの語のうち、次の文章のカッコの中に入るのは、どちらがいい? 「父母がずっとすこやかで()に暮らしてほしいといつも願っている。」 答えはこの本の中にあります。読んでね! このように、言葉を比べたり並べ替えたりするという実験を繰り返して、文章を磨いていく必要性を述べています。

<一般書テーマ> 「**“祭り”に行こう**」

『世界の祝祭』

(地球の歩き方編集室／編集 地球の歩き方)

華やかな衣装や山車などが使われる祭りが多いですが、中には不気味な姿もチラホラ。さらに、悪魔が赤ちゃんの頭上を飛び越える儀式をする、不思議な祭りも紹介されています。また、食べ物や旅の情報も掲載されています。

はっさくさんの本棚



<このコーナーの主>
ミックンのおじいちゃん
はっさくさん

今月は、「日記」というテーマで本をご紹介します。

子どもの頃の夏休みの思い出といえば、日記を毎日書いたことかろう。その日にあった出来事を振り返りながら自分の内面を見つめる、今思うと貴重な時間じゃった。詳細な記録や描写で、文学作品として評価される日記文学に、ぜひふれてほしいなあ。では2冊紹介するよ。



『**あのころなにしてた?**』(綿矢 りさ／著 新潮社)

作家 綿矢りささんがコロナ禍の2020年を、ひとりの生活者として見つめた1年間の記録。マスクがあると相手の顔が覚えにくくなるという戸惑いがある一方、自分と他人がマスク1枚で隔てられているだけで、少し気楽に話せる、といったような機微を綴っています。

『**ぼくとねこのすれちがい日記**』(北澤 平祐／著 ホーム社)

イラストレーターの「たいら」と猫の「ホワンホワン」の、出会いから別れまでの記録。ときどきこの猫が、前世を覚えているのでは?と思わずにはいられない不思議な部分があります。本当のところはどうなんでしょうね。



ところでこの2冊の装画は、なんと「たいら」さんによるものじゃった! 偶然じゃったが、なにか運命のようなものを感じたよ。みんなも本との偶然の出会いを探しに、図書館へ足を運んでみてはいかがかな?

「はっさくさんの本棚」で紹介された本は、長与町図書館で借りることができます。